

PROCEEDINGS

THE 37th ANNUAL MEETING OF THE JAPANESE ASSOCIATION FOR DEVELOPMENTAL & COMPARATIVE IMMUNOLOGY

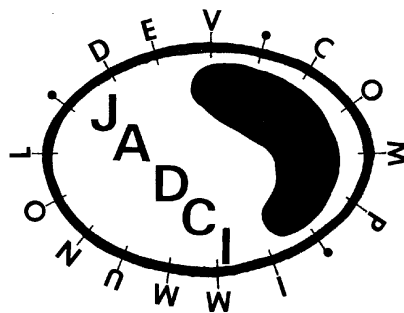
Naha City, Okinawa, Japan
July 16 to 18, 2026

日本比較免疫学会 第37回 学術集会講演要旨

会期：2026年7月16日（木）～18日（土）

会場：沖縄県青年会館 大ホール
沖縄県那覇市久米 2-15-23

学術集会 集会長：松崎 吾朗（琉球大学熱帯生物圏研究センター）
学術集会 事務局長：高江洲 義一（琉球大学熱帯生物圏研究センター）



日本比較免疫学会

—2026—

Contents

ページ

目次	1
(Contents)	
日本比較免疫学会学術集会日程	2
(Meeting Schedule of JADCI)	
参加者へのご案内	3
(Information for Participants)	
役員名簿	6
(Office of JADCI)	
講演プログラム (和文)	7
(Program in Japanese)	
講演要旨 (Abstract)	
一般講演 Session A	16
Session B	24
Session C	28
Session D	36
Session E	40
古田優秀論文賞受賞講演	44
特別講演 I	46
特別講演 II	48
シンポジウム	50
学会会則	55
(Constitution & Bylaws of JADCI)	
英文会則	59
(Officers, Constitution & Bylaws of JADCI)	
協賛・広告企業	62

日本比較免疫学会第37回学術集会

(2026年度)

会期：令和8年7月16日(木)～18日(土)

場所：沖縄県青年会館大ホール(沖縄県那覇市久米2-15-23)

学術集会長：松崎 吾朗(琉球大学熱帯生物圏研究センター)

後援：共同利用・共同研究拠点 琉球大学熱帯生物圏研究センター

学術集会日程表

日程	時間	プログラム 内容
第1日目 (16日)	12:00	受付
	12:50	開会挨拶
	13:00	一般講演 (Session A: 8演題)
		休憩
	15:35	一般講演 (Session B: 4演題)
		休憩
	16:50	特別講演 I 「サンゴと褐虫藻の共生：出会いから別れまで」 高橋 俊一 (琉球大学熱帯生物圏研究センター)
	18:00	役員会
第2日目 (17日)	9:30	一般講演 (Session C: 8演題)
	11:45	昼休み (奨励賞選考委員会)
	13:15	一般演題 (Session D: 4演題)
		休憩
	14:30	一般演題 (Session E: 4演題)
		休憩
	15:45	総会および授賞式
	16:15	古田優秀論文賞受賞講演
		休憩
	17:00	特別講演 II 「感染が駆動する宿主免疫システムの進化」 山崎 晶 (大阪大学微生物病研究所分子免疫制御分野)
18:00	記念撮影	
19:00	懇親会	
第3日目 (18日)	9:30	シンポジウム 「ほ乳動物における自然免疫制御の分子基盤と生理的意義」 1) 「腸内代謝産物による免疫・上皮バリア制御機構」 香山 尚子 (大阪大学高等共創研究院, 医学系研究科) 2) 「ITAM シグナルによる βc サイトカイン受容体の活性化制御」 原 博満 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科) 3) 「細菌成分を認識する Caspase-12: その分子機構と進化的多様性」 土屋 晃介 (金沢大学がん進展制御研究所) 4) 「病原体エフェクターによる TLR シグナル破綻と宿主の対抗応答機構」 高江洲 義一 (琉球大学熱帯生物圏研究センター)
	12:00	閉会の辞

参加者へのご案内

【学術集会会場】 沖縄県青年会館 大ホール
(沖縄県那覇市久米 2-15-23、電話 098-864-1780)

受付：沖縄県青年会館 2階 大ホール前
役員会：沖縄県青年会館 3階 中山の間

【連絡先】

第37回日本比較免疫学会学術集会事務局
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究所 松崎吾朗・高江洲義一
Email: jadci2026@gmail.com
電話: 098-895-8973

【会場へのアクセス】 <http://www.okiseikan.or.jp/user.php?CMD=115401600000>



那覇空港からのアクセス

- ◆バス 那覇バスターミナル下車（料金 220 円）徒歩 10 分
- ◆モノレール 旭橋駅下車（料金 230 円）徒歩 5 分
- ◆タクシー 約 10 分（料金約 1,000 円）

【懇親会会場】

Sky Garden OMOROMACHI

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 1-1-2

ダイワロイネットホテル那覇おもろまち 18F

<https://fbwu200.gorp.jp/>

（ゆいレール おもろまち駅 徒歩 8 分）



懇親会会場へのアクセス

モノレール旭橋駅から、「てだこ浦西行」に乗車。

おもろまち駅（5 番目の駅、約 11 分 290 円）で下車。

改札を出て左すぐの階段またはエレベーターで地上階に降りる。

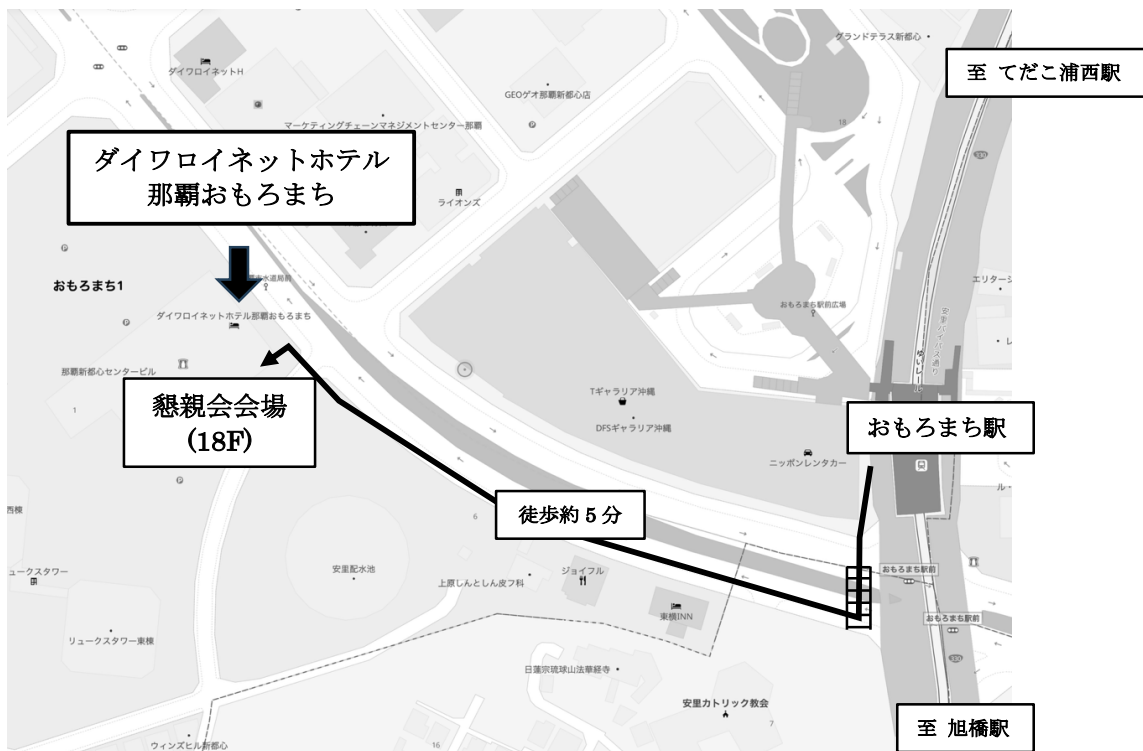
南向き（上記の階段・エレベーターで降りた正面方向）に進み、横断歩道を渡る。

右折して、道なりに進む。高いビルがダイワロイネットホテル那覇おもろまち。

エレベーターで 18 階に上ると会場。

注意：近くにダイワロイネットホテル那覇おもろまち PREMIER という違うホテルがあります。

お間違えのないようにご注意ください。



【受付】

会場前にて、7月16日（木）12:00より開始いたします。ネームプレートとネームホルダーを用意しますので、着用をお願いします。なお、ネームホルダーは学術集会終了後に必ずご返却ください。学会への入会手続き、年会費などの納入も併せて行います。

【参加費】

■学会参加費

日本比較免疫学会	正会員	5,000円
	博士課程学生会員	3,000円
	修士課程・学部生会員	無料
非会員		6,000円

■懇親会費

正会員・非会員	6,000円
博士課程学生会員	3,000円
修士課程・学部生会員	2,000円

[懇親会へ参加される方は、6月25日（木）までに学術集会事務局（jadci2026@gmail.com）までお申込み下さい。]

【発表要領】

発表者ご自身のコンピューターを液晶プロジェクターに接続して発表していただきます。

プロジェクターへの接続は、HDMI接続のみとなります。HDMIアダプターはご自身でご用意をお願いします。また、コンピューターの貸し出しを希望する方は、必ず事前に学術集会事務局（jadci2026@gmail.com）までご相談ください。事前に接続確認を行いたい方は、各セッション開始前の休憩時間に、係のものにお申し出ください。

【発表時間】

一般講演の発表時間は、口頭発表12分、質疑2分、演者交代時間1分の計15分間です。

【記念撮影】

7月17日（金）の特別講演終了時に、参加者の記念撮影を行います。

【懇親会】

7月17日（金）19:00より、Sky Garden OMOROMACHIで懇親会を開催します。懇親会会場は学術集会会場から離れていますので、懇親会へご参加の方は、記念撮影後に速やかに移動をお願いします。

日本比較免疫学会・役員名簿 (2026年度)

会 長	中村 修	北里大学
副 会 長	末武 弘章	福井県立大学
庶務・会計	片倉 文彦	日本大学
	柴崎 康宏	日本大学
学術集会担当	杣本 智軌	九州大学
	柴田 俊生	九州大学
会 計 監 査	中尾 実樹	九州大学
	松崎 吾朗	琉球大学
広報担当	古川 亮平	慶應義塾大学
	瀧澤 文雄	福井県立大学

学会事務局：

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866

日本大学 生物資源科学部 獣医学科 魚病／比較免疫学研究室内

Phone 1: 0466-84-3381 (片倉, 獣医学科 魚病／比較免疫学研究室)

Phone 2: 0466-84-3804 (柴崎, 海洋生物学科水圏生物病理学研究室)

E-mail: jadci2office@gmail.com

第 37 回学術集会プログラム

第 1 日目 7 月 16 日 (木)

開会挨拶 12:50 ~ 13:00

一般講演 13:00 ~ 16:35

Session A 無脊椎動物の生体防御

座長 筒井 繁行 (北里大学)
古川 亮平 (慶應義塾大学)

- A1 13:00 淡水性カタツムリ *Biomphalaria glabrata* における Cytidine deaminase の組織発現および局在解析
○田口 瑞姫, Malin Kristina Schröder, 森本 亮
Department of Molecular Biology, Molecular Infection Medicine, Sweden (MIMS), Umeå University
- A2 13:15 共生・非共生二枚貝における mTORC1 を介した細菌含有食胞制御機構の共通性
○多米 晃裕
福井大学医学部・ライフサイエンス支援センター
- A3 13:30 1 細胞由来 mRNA 情報に基づいたクルマエビ科に共通な血球細胞分類マーカーの開発
○原田 真知¹, 日下博貴¹, Jumroensri Thawonsuwan², 仮屋山 博文^{3,4,5}, 尾崎 遼^{3,4}, 吉武 和敏⁶, 白澤 健太⁷, 近藤 秀裕¹, 廣野 育生¹, 小祝 敬一郎¹
¹ 東京海洋大学 ゲノム科学研究室, ² Songkhla Aquatic Animal Health Research and Development Center, ³ 理化学研究所 生命機能科学研究センター AI 生物学研究チーム, ⁴ 筑波大学 医学医療系 バイオインフォマティクス研究室, ⁵ 筑波大学大学院 人間総合科学学術院, ⁶ 北里大学 生物化学研究室, ⁷ かずさ DNA 研究所 植物ゲノム生物化学研究室
- A4 13:45 クルマエビ新生血球細胞の未固定 EdU 標識法の確立と血球細胞移植系への応用

○日下 博貴, 飯村 朋彦, 近藤 秀裕, 廣野 育生, 小祝 敬一郎
東京海洋大学・ゲノム科学研究室

14:00~14:15 コーヒーブレイク、自由討論

A5 14:15 イトマキヒトデの変態を誘導するバクテリア刺激はどのように不可逆的な発生状態遷移へと接続されるのか

○田口 瑞姫^{1,2}, 亀谷 匠郁¹, 古川 亮平¹

¹慶應義塾大学自然科学研究教育センター、²Department of Molecular Biology, Umeå University

A6 14:30 マナマコの discoidin domain タンパク質 AjDDCP は体腔細胞凝集反応において細胞接着を強化する

○梅谷 真由, 伊藤 光輝, 筒井 繁行, 中村 修

北里大学・海洋生命科学部

A7 14:45 マナマコ体腔細胞凝集促進因子 AjGBCL の分泌誘導と局在

○稲葉 美友, 佐藤 雅, 筒井 繁行, 中村 修

北里大学・海洋生命科学部

A8 15:00 上皮細胞の細胞終焉である組織からの離脱におけるマクロファージの役割

中川 敦斗, ○内田 心愛, 栗井 麻里那, 上田 光貴, 川根 公樹

京都産業大学・生命科学研究科

15:15~15:35 コーヒーブレイク、自由討論

Session B リンパ球の進化

座長 片倉 文彦 (日本大学)

B1 15:35 アカエイ血中から分離された IgW 抗体の性状解析

○常川 光樹^{1,2}, 長澤 貴弘³, 柚本 智軌³, 近藤 秀裕⁴, 中尾 実樹³

¹東京海洋大学・大学院海洋科学技術研究科, ²九州大学・大学院生物資源環境科学府, ³九州大学・大学院農学研究院, ⁴東京海洋大学・学術研究院海洋生物資源学部門

B2 15:50 トラフグ分泌型 IgD とその産生細胞の同定

○邵 晨凱, 瀧澤 文雄, 末武 弘章
福井県立大学・海洋生物資源学部

B3 16:05 ニジマス IgT+ B 細胞における魚類特異的パーフォリンの発現解析
○宮澤 龍一郎¹, 柴崎 康宏², 瀧澤 文雄³, J.Oriol Sunyer¹
¹ペンシルベニア大学・獣医学部, ²日本大学・生物資源科学部, ³福井県立
大学・海洋生物資源学部

B4 16:20 ニジマス CD8 α 1 および CD8 β 1/2 の細胞表面発現および分子間会合の解析
○井口 隆斗¹, Abdelsalam Ehdaa E. E. ¹, Dijkstra Johannes M. ², 山口 卓
哉³, 柴崎 康宏³, 宮澤 龍一郎⁴, 末武 弘章¹, Fischer Uwe⁵, 瀧澤 文雄¹
¹福井県立大学海洋生物資源学部, ²藤田医科大学医科学研究センター, ³日
本大学生物資源学部, ⁴ペンシルベニア大学獣医学部, ⁵フリードリヒ・レ
フラー研究所

16:35~16:50 コーヒーブレイク、自由討論

特別講演 I 16:50 ~ 17:50

座長 松崎 吾朗 (琉球大学熱帯生物圏研究センター)

サンゴと褐虫藻の共生：出会いから別れまで

高橋 俊一 (琉球大学・熱帯生物圏研究センター)

役員会 18:00 ~ 19:30

第2日目 7月17日(金)

一般講演 9:30~11:45

Session C 免疫組織と感染防御

座長 岡村 洋 (静岡県立大学)

宮澤 龍一郎 (Univ. Pennsylvania)

- C1 9:30 真骨魚類の Spi-C は鰓の Metaphocyte の分化を制御する
○矢倉 卓磨, 林 忠弘, 杉浦 羅央, 清水 友斗, 大谷 真紀, 吉浦 康寿, 瀧澤 文雄, 宮台 俊明, 末武 弘章
福井県立大学・海洋生物資源学部
- C2 9:45 ドチザメ由来ザイモサン結合性レクチンの分子クローニング
○朱 珈凝¹, 友井 千帆里¹, 長澤 貴宏², 柚本 智軌², 中尾 実樹²
¹九州大学大学院生物資源環境科学府, ²九州大学大学院農学研究院
- C3 10:00 マダイメラノマクロファージセンターへの異物輸送機構の解明
○木村 海咲, 筒井 繁行, 中村 修
北里大学・海洋生命科学部
- C4 10:15 ニジマス腹腔内に新生される第三次リンパ様構造の形成機序と免疫応答 – 空間的・網羅的遺伝子解析 –
○藤原 涼輔¹, 宮澤 龍一郎², 子安 結子¹, 瀧澤 文雄³, 澤山 英太郎¹, 間野 伸宏¹, 柴崎 康宏¹
¹日本大学・生物資源科学部, ²Department of Pathobiology, School of Veterinary Medicine University of Pennsylvania, ³福井県立大学・海洋生物資源学部
- 10:30~10:45 コーヒーブレイク、自由討論
- C5 10:45 *Caligus fugu* のイオンチャネル型受容体の分子的特性解析と宿主の鱗皮膚の厚さが寄生部位を決定する可能性の検討
○野村 唯斗¹, K.M. Shakil Rana^{2, 3}, 張 雋侑³, 園田 岳憲¹, 田角 聡志³
¹鹿児島大学大学院・農林水産学研究科, ²バングラデシュ農科大学・水産養殖学部, ³鹿児島大学大学院・連合農学研究科

- C6 11:00 **メダカ細胞における Poly(I:C) 刺激による細胞死の誘導**
 ○中岡 侑莉乃¹, 河野 智哉², 森脇 健太³, 引間 順一²
¹宮崎大学大学院農学研究科, ²宮崎大学農学部, ³広島大学大学院医系科学研究科
- C7 11:15 ***Edwardsiella piscicida* 由来病原因子 EvpP によるメダカ宿主の免疫応答および細胞死の制御**
 ○住吉 竹千代¹, 西原 輝², 入鹿 誓良¹, 河野 智哉³, 引間 順一³
¹宮崎大学院・農学工学総合研究科, ²水産研究教育機構・水産技術研究所, ³宮崎大学・農学部
- C8 11:30 ***Edwardsiella piscicida* 由来新規病原性因子 EpTcpL の機能解明**
 ○入鹿 誓良¹, 住吉 竹千代¹, 近藤 昌和², 安本 信哉², 河野 智哉³, 引間 順一³
¹宮崎大学大学院農学工学総合研究科, ²水産研究教育機構・水産大学校生物生産学科, ³宮崎大学農学部

昼休み 11:45 ~ 13:15

古田奨励賞選考委員会 12:00 ~ 13:15

一般講演 13:15~15:30

Session D 補体・凝固系とレクチン

座長 田角 聡志 (鹿児島大学)

- D1 13:15 **コイ補体の D 因子非依存的 C3 転換酵素形成によって推察される補体第二経路活性化の原始機構**
 Akhil Kizhakkumattam, 中原 マキ子, 長澤 貴宏, 柚本 智軌, ○中尾 実樹
 九州大学大学院農学研究院
- D2 13:30 **コイにおけるフィブリノゲン重合・架橋・線溶機構の解析**
 ○頼 可¹, 松井 信太郎^{2, 3}, 牧野 由美子⁴, 吉田 拓也^{4, 5}, 長澤 貴宏², 柚本 智軌², 中尾 実樹²

¹九州大学大学院・生物資源環境科学府,²九州大学大学院・農学研究院,³九州産業大学・生命科学部,⁴基礎生物学研究所・トランスオミクス解析室,⁵総合研究大学院大学・基礎生物学コース

D3 13:45 ヒラメ *Paralichthys olivaceus* 皮膚粘液の血液凝固系に及ぼす影響

○松井 信太郎
九州産業大学 生命科学部

D4 14:00 マサバ皮膚粘液レクチン

○筒井 繁行、國崎 拓也、伊澤 達人、中村 修
北里大学 海洋生命科学部

14:15 ~ 14:30 コーヒーブレイク、自由討論

Session E 免疫エフェクターと組織分布

座長 柚本 智軌 (九州大学)

E1 14:30 活性化 T 細胞動態解析のための GFP クローンギンブナ養子移入システム

上原 怜^{1,2}, 武田 真治¹, 億 大智¹, 森友 忠昭¹, ○片倉 文彦¹
¹日本大学・生物資源科学部・獣医学科, ²日本大学・歯学部

E2 14:45 ニジマス CD4 陽性 Th 細胞サブセットの組織分布と遺伝子発現プロファイル

○瀧澤 文雄¹, 井口 隆斗¹, 藤原 涼輔², 渡邊 翔太², 柴崎 康宏², 宮澤 龍一郎³, 末武 弘章¹
¹福井県立大学海洋生物資源学部, ²日本大学生物資源科学部, ³ペンシルベニア大学獣医学部

E3 15:00 出生早期における腸管上皮細胞 LREs を介した免疫寛容形成

○岡村 洋, 森下 雄太, 梅本 英司
静岡県立大学 薬学部 免疫微生物学教室

E4 15:15 新規マウス腸管好酸球サブセットの同定

○笠松 純¹, Marco Colonna², 原 博満¹
¹鹿児島大学・免疫学分野, ²Washington University St. Louis

15:30～15:45 コーヒーブレイク、自由討論

総会および授賞式 15:45～16:15

古田優秀論文賞受賞講演 16:15～16:45

イトマキヒトデの血小板様無核細胞断片による創傷治癒・免疫応答：膜構造体を介した分散型情報処理ネットワークへの展開

○南方 宏太¹，田口 瑞姫²，多米 晃裕³，倉石 立²，古川 亮平²

¹慶應義塾大学大学院・理工学研究科，²慶應義塾大学・自然科学研究教育センター，³福井大学・医学部ライフサイエンス支援センター

16:45～17:00 コーヒーブレイク、自由討論

特別講演 II 17:00～18:00

座長 松崎 吾朗（琉球大学熱帯生物圏研究センター）

感染が駆動する宿主免疫システムの進化

山崎 晶（大阪大学微生物病研究所分子免疫制御分野、IFReC/CiDER）

記念撮影（集合写真） 18:00

懇親会 19:00～21:00 Sky Garden OMOROMACHI

第3日目 7月18日(土)

シンポジウム 9:30~12:00

『ほ乳動物における自然免疫制御の分子基盤と生理的意義』

座長 笠松 純 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

高江洲 義一 (琉球大学・熱帯生物圏研究センター)

SI1 腸内代謝産物による免疫・上皮バリア制御機構

香山 尚子^{1,2}

¹大阪大学・高等共創研究院, ²大阪大学・医学系研究科・免疫制御学教室

SI2 ITAM シグナルによる βc サイトカイン受容体の活性化制御

原 博満¹, 飯笹 英一², 笠松 純¹, 松本 信英¹, 今村 瑛史¹

鹿児島大学大学院・医歯学総合研究科・¹免疫学分野, ²心身内科学分野

SI3 細菌成分を認識する Caspase-12 : その分子機構と進化的多様性

土屋 晃介^{1,2}

¹金沢大学・がん進展制御研究所・がん-免疫相互作用ユニット,

²転写制御工学研究分野

SI4 病原体エフェクターによる TLR シグナル破綻と宿主の対抗応答機構

高江洲 義一^{1,2,3}

¹琉球大学熱帯生物圏研究センター, ²大学院医学研究科生体防御学分野,

³医学部先端医学研究センター

閉会の辞 12:00